

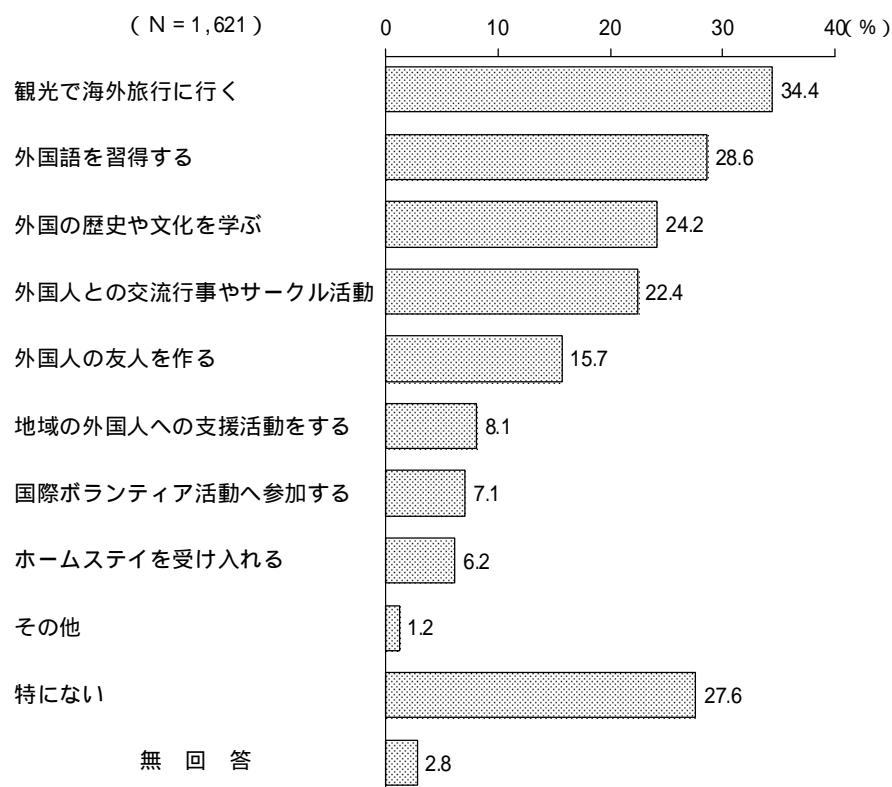
3. 教育・文化・スポーツ

3 - 1 してみたい国際交流活動

「観光で海外旅行に行く」が34.4%

問10 あなたは、どんな国際交流をしてみたいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

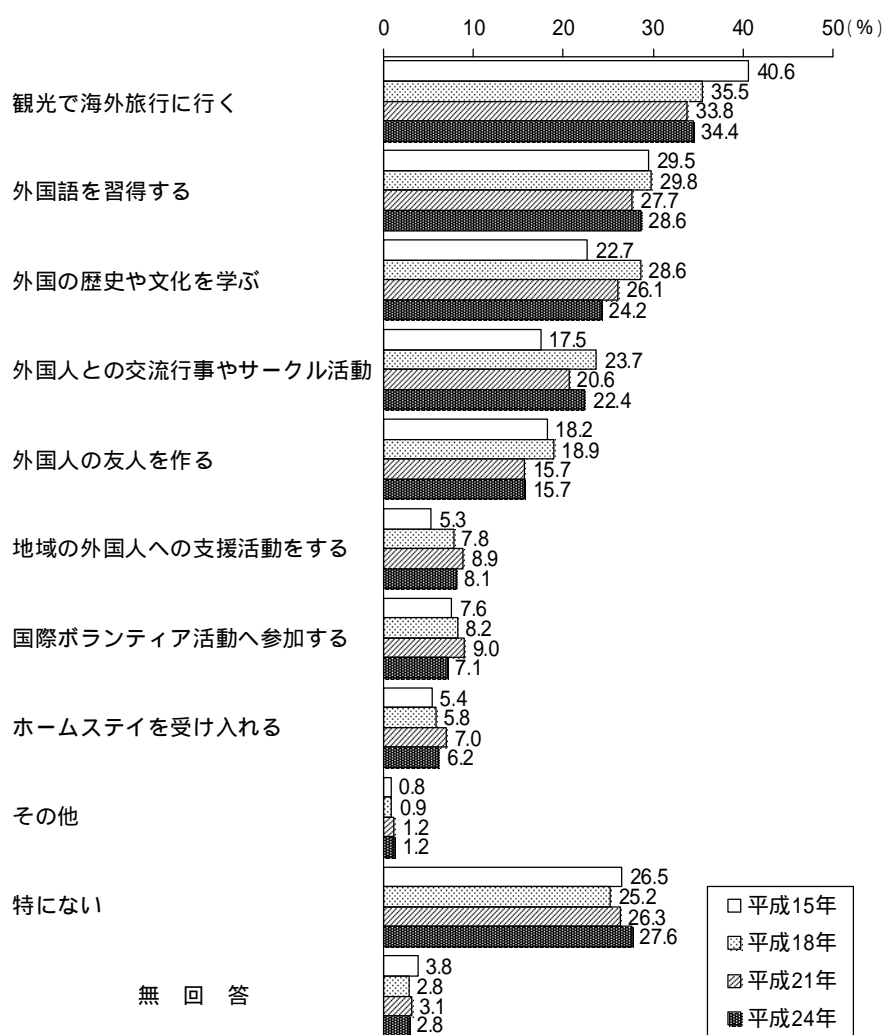
図3 - 1 - 1



してみたい国際交流活動をたずねたところ、「観光で海外旅行に行く」(34.4%)が最も多く、30%半ばとなっている。以下、「外国語を習得する」(28.6%)、「外国の歴史や文化を学ぶ」(24.2%)、「外国人との交流行事やサークル活動」(22.4%)、「外国人の友人を作る」(15.7%)などの順となっている。(図3 - 1 - 1)

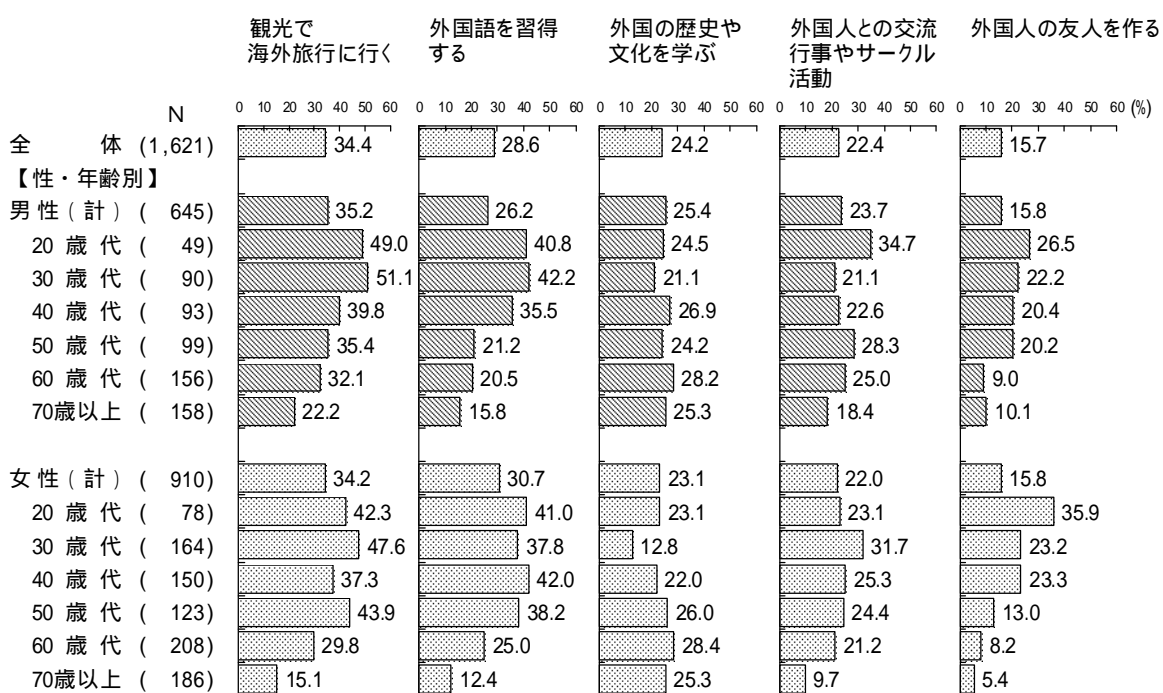
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。(図3-1-2)

図3-1-2 時系列 してみたい国際交流活動



上位5項目を性・年齢別にみると、「観光で海外旅行に行く」は男性20歳代と30歳代が50%前後で多くなっている。「外国語を習得する」は男性20歳代と30歳代、女性20歳代と40歳代がいずれも40%を超えている。「外国人との交流行事やサークル活動」は男性20歳代が30%半ばで多くなっている。「外国人の友人を作る」は女性20歳代が30%半ばで多くなっている。(図3-1-3)

図3-1-3 性・年齢別 してみたい国際交流活動

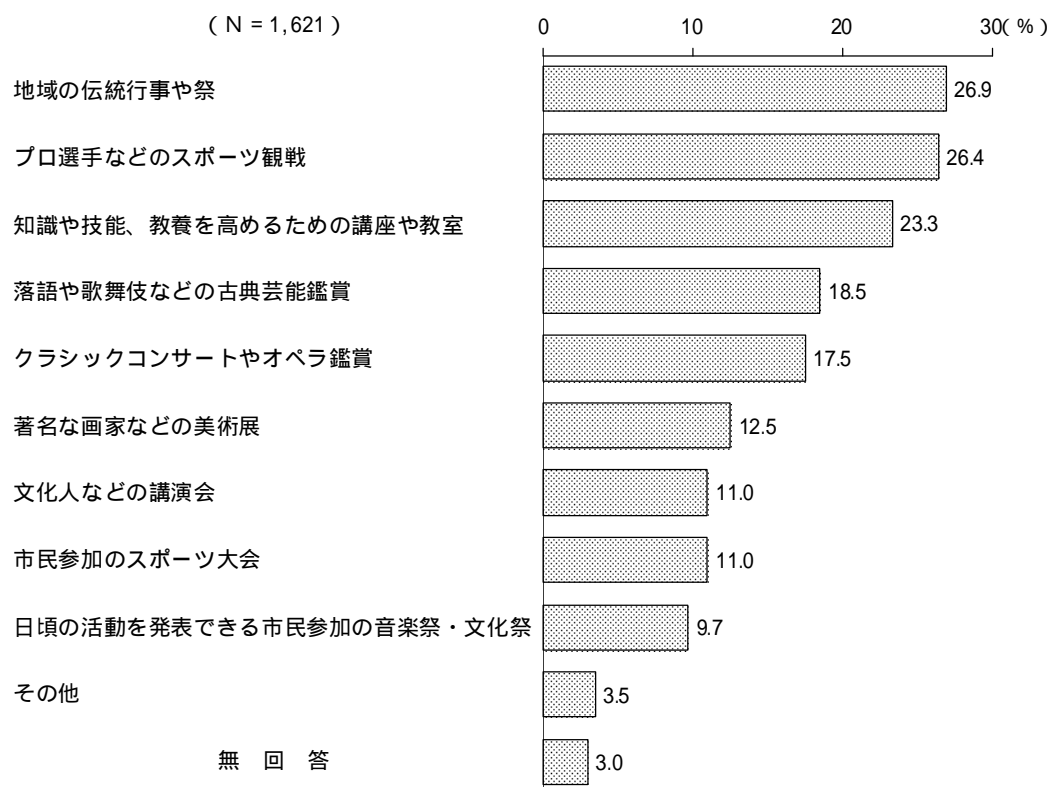


3 - 2 興味のある文化・スポーツイベント

「地域の伝統行事や祭」が26.9%、「プロ選手などのスポーツ観戦」が26.4%

問11 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。(は2つ以内)

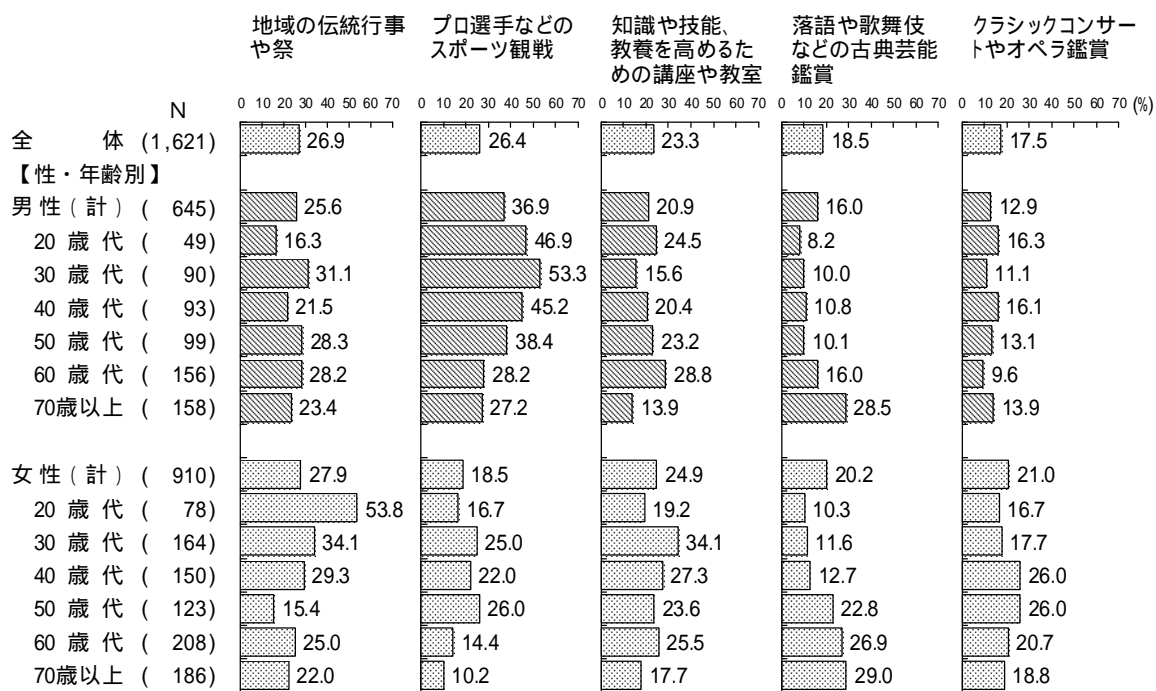
図3 - 2 - 1



興味のある文化・スポーツイベントをたずねたところ、「地域の伝統行事や祭」(26.9%)と「プロ選手などのスポーツ観戦」(26.4%)がともに20%半ばとなっている。以下、「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」(23.3%)、「落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞」(18.5%)、「クラシックコンサートやオペラ鑑賞」(17.5%)などの順となっている。(図3 - 2 - 1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「地域の伝統行事や祭」は女性20歳代が50%を超えて最も多くなっている。「プロ選手などのスポーツ観戦」は男性30歳代が50%を超え、男性20歳代と40歳代が40%半ばで多くなっている。「落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞」は男女とも70歳以上が30%近くで多くなっている。(図3-2-2)

図3-2-2 性・年齢別 興味のある文化・スポーツイベント



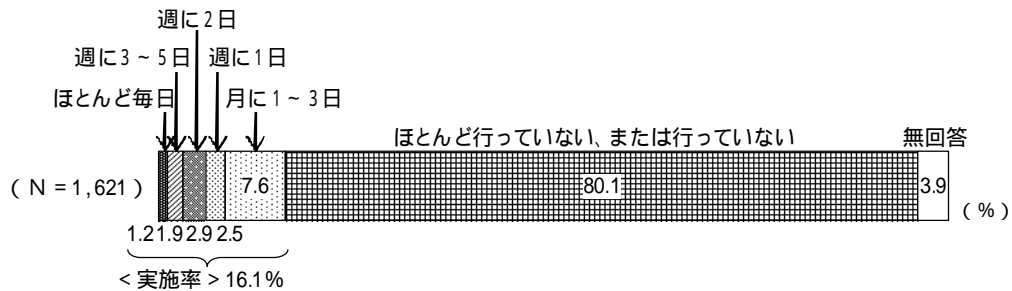
3 - 3 文化活動の頻度

<実施率>は16.1%

問12 あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。次の中から1つ選んでください。
(は1つ)

* 「文化」とは、芸術・メディア芸術・伝統芸能・芸能・生活文化・地域における伝統文化を想定しており、「文化活動」とは、これらを行うことについて想定しています。

図3 - 3 - 1

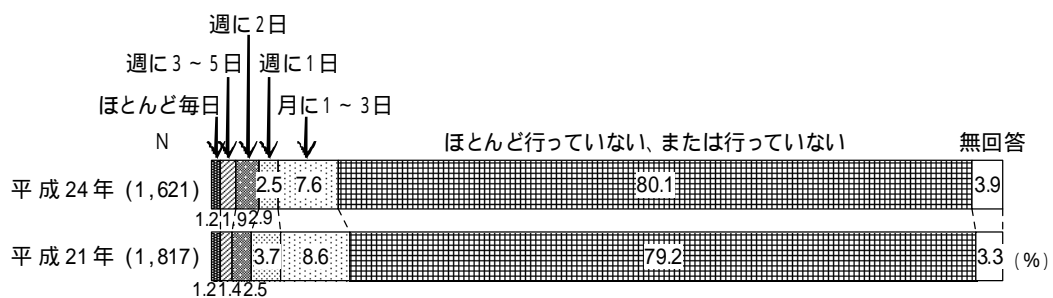


文化活動の頻度をたずねたところ、「ほとんど行っていない、または行っていない」(80.1%)が最も多く、80%を超えている。「ほとんど毎日」(1.2%)、「週に3~5日」(1.9%)、「週に2日」(2.9%)、「週に1日」(2.5%)、「月に1~3日」(7.6%)を合わせた<実施率>は16.1%となっている。

(図3 - 3 - 1)

時系列でみると、前回調査とほぼ同じ傾向になっている。(図3 - 3 - 2)

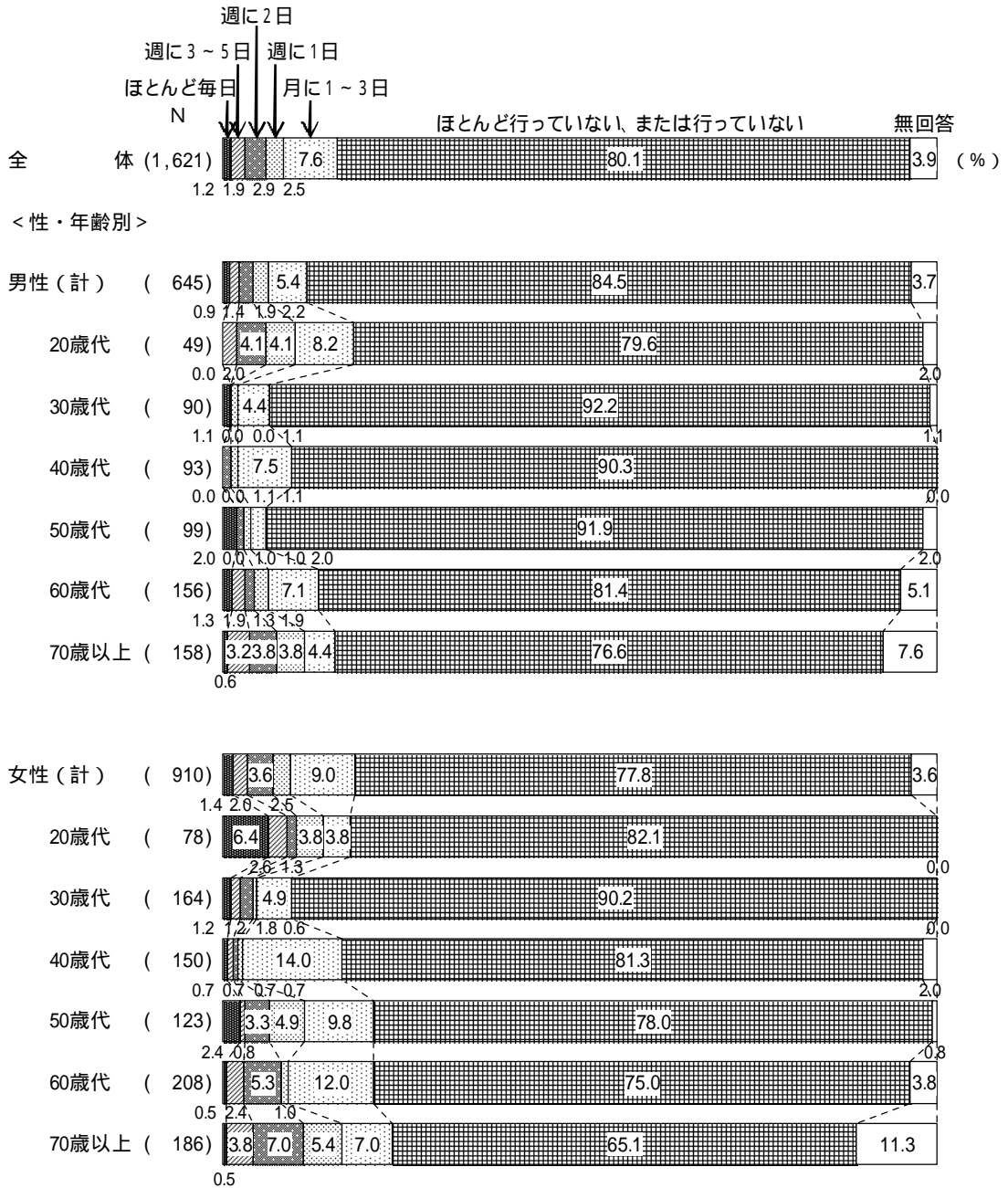
図3 - 3 - 2 時系列 文化活動の頻度



性・年齢別にみると、＜実施率＞は女性70歳以上(23.7%)が20%を超えて最も多くなっている。
 一方、男性の30歳代から50歳代の年代と女性30歳代では、＜実施率＞が10%未満となっている。

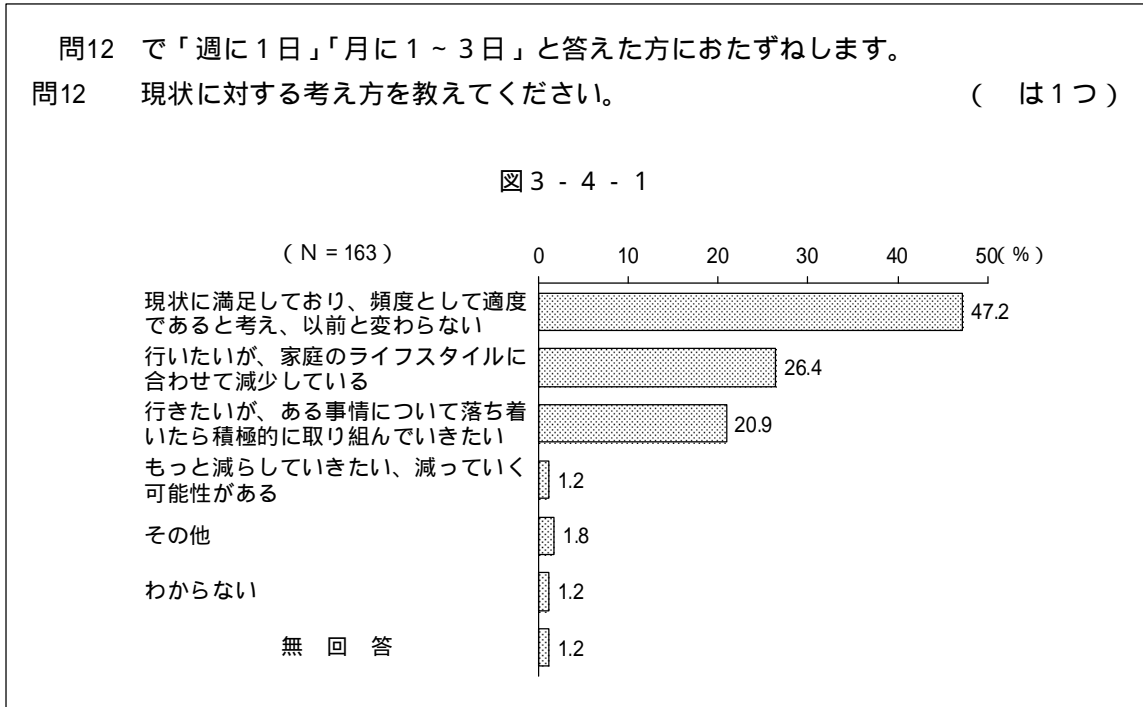
(図3-3-3)

図3-3-3 性・年齢別 文化活動の頻度



3 - 4 文化活動への取組

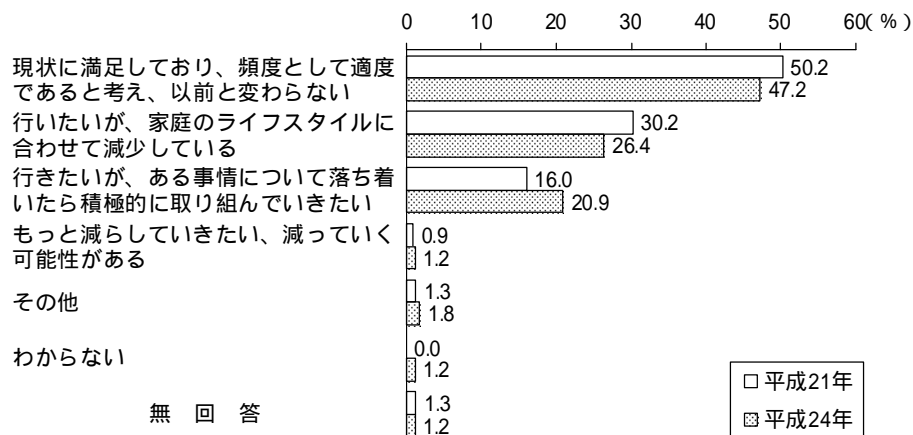
「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」が47.2%



問12 で「週に1回」「月に1～3日」文化活動を行っていると答えた人(163人)に、文化活動への取り組みをたずねたところ、「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」(47.2%)が最も多く、50%近くとなっている。「行きたいが、家庭のライフスタイルに合わせて減少している」(26.4%)は20%半ばで、「行きたいが、ある事情について落ち着いたら積極的に取り組んでいきたい」(20.9%)は20%を超えている。(図3 - 4 - 1)

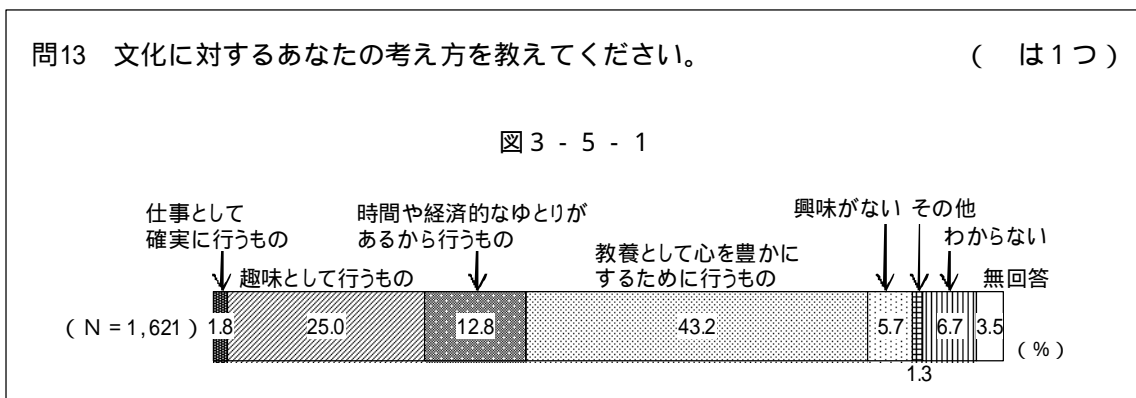
時系列で見ると、「行きたいが、ある事情について落ち着いたら積極的に取り組んでいきたい」は前回調査と比べて4.9ポイント増加している。(図3 - 4 - 2)

図3 - 4 - 2 時系列 文化活動への取組



3 - 5 文化に対する考え方

「教養として心を豊かにするために行うもの」が43.2%

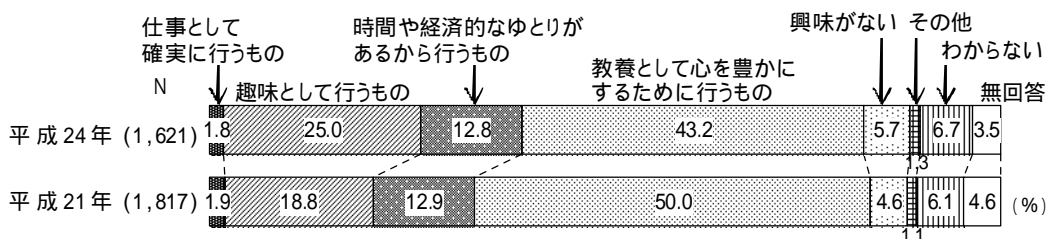


文化に対する考え方をたずねたところ、「教養として心を豊かにするために行うもの」(43.2%)が最も多く、40%を超えている。以下、「趣味として行うもの」(25.0%)、「時間や経済的なゆとりがあるから行うもの」(12.8%)などの順となっている。(図3 - 5 - 1)

時系列でみると、「趣味として行うもの」は前回調査と比べて6.2ポイント増加している。一方、「教養として心を豊かにするために行うもの」は前回調査と比べて6.8ポイント減少している。

(図3 - 5 - 2)

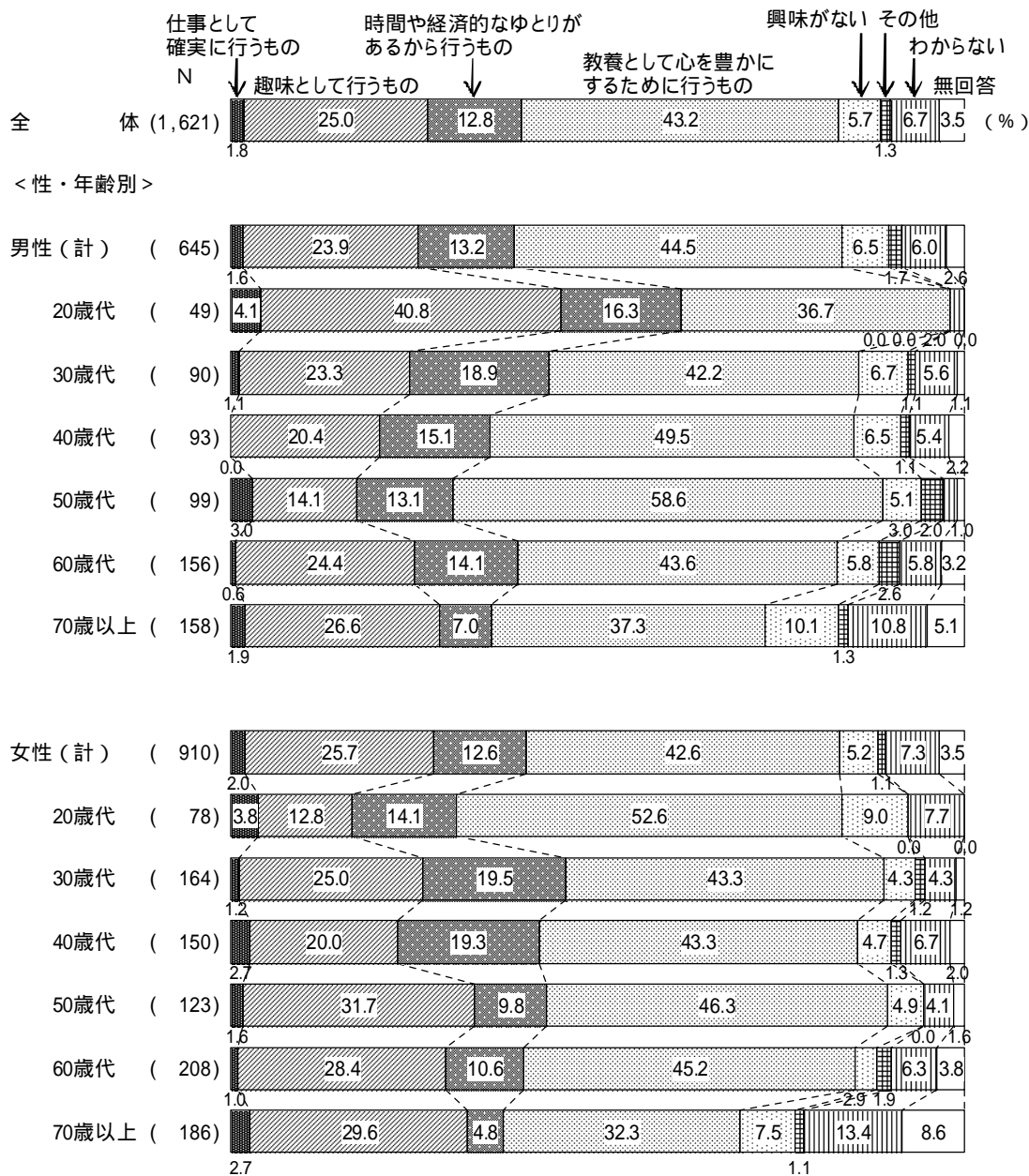
図 3 - 5 - 2 時系列 文化に対する考え方



性・年齢別にみると、「教養として心を豊かにするために行うもの」は男性50歳代が60%近くで最も多くなっている。「趣味として行うもの」は男性20歳代が40%を超えて多くなっている。

(図3-5-3)

図3-5-3 性・年齢別 文化に対する考え方

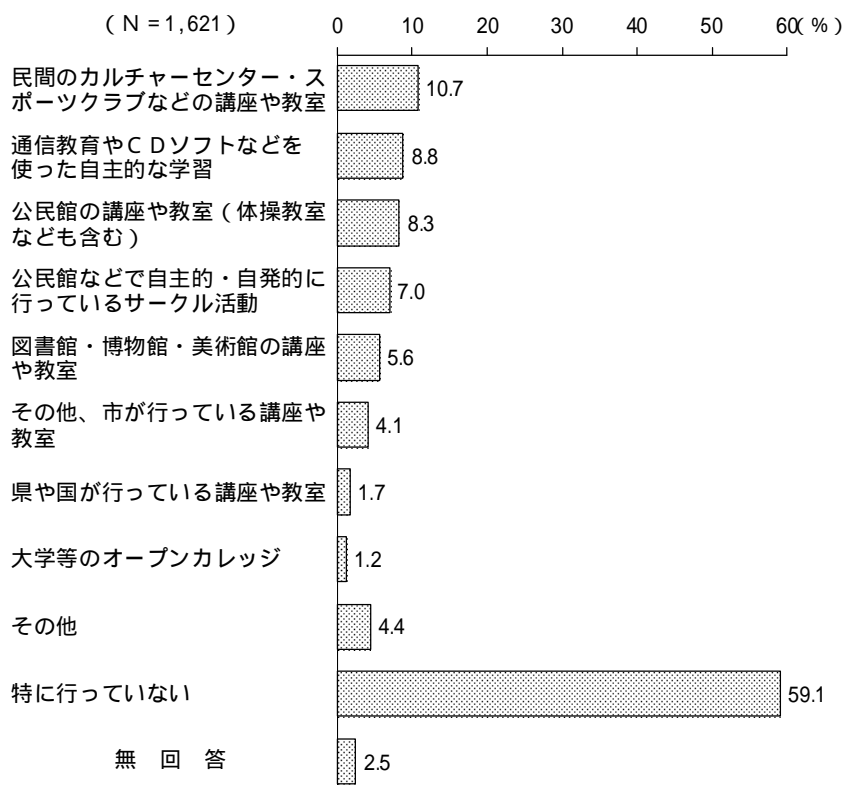


3 - 6 生涯学習活動の取組状況

「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブなどの講座や教室」が10.7%

問14 あなたは、日ごろ次のような生涯学習を行っていますか。 (は2つ以内)
 「生涯学習」とは、自己の啓発や充実のため、生活の向上のためや職業上の能力の向上のため、自発的に行う学習活動のことを想定しています。

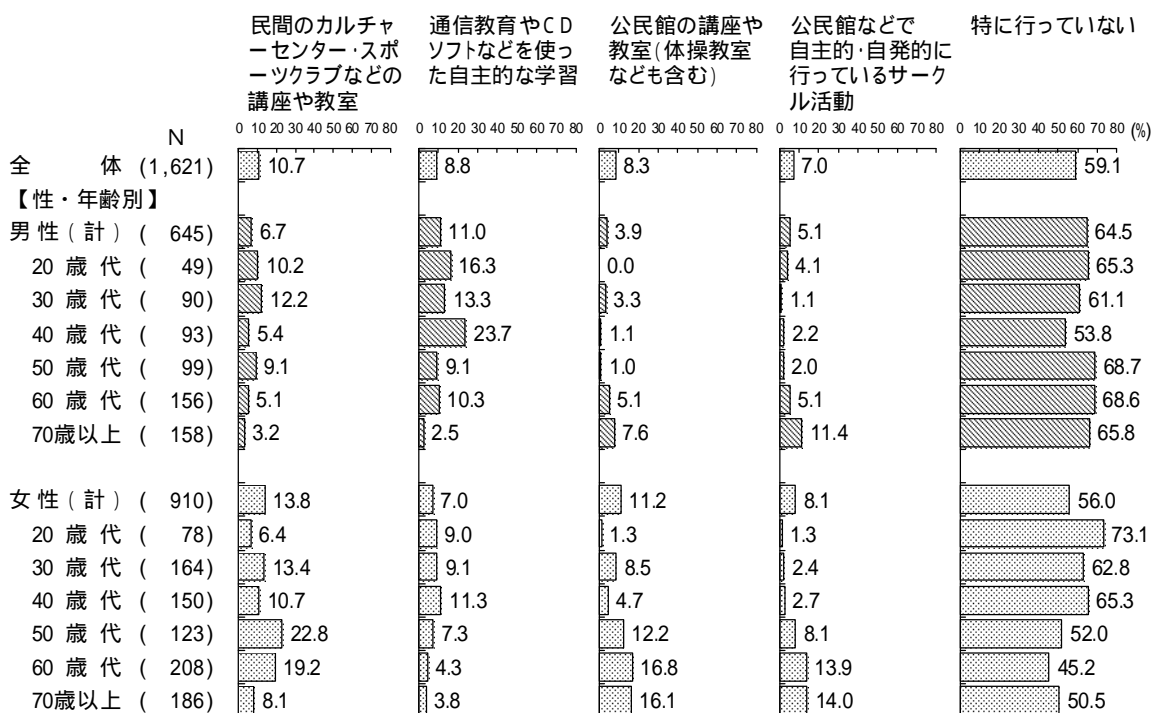
図3 - 6 - 1



生涯学習活動の取組状況をたずねたところ、「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブなどの講座や教室」(10.7%)が10%を超えている。以下、「通信教育やCDソフトなどを使った自主的な学習」(8.8%)、「公民館の講座や教室(体操教室なども含む)」(8.3%)、「公民館などで自主的・自発的に行っているサークル活動」(7.0%)などの順となっている。「特に行っていない」(59.1%)は60%近くとなっている。(図3 - 6 - 1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブなどの講座や教室」は女性50歳代と60歳代が20%前後で多くなっている。「通信教育やCDソフトなどを使った自主的な学習」は男性40歳代が20%を超えて多くなっている。「公民館の講座や教室(体操教室なども含む)」と「公民館などで自主的・自発的に行っているサークル活動」は、ともに女性60歳代と70歳以上の割合が最も多くなっている。(図3-6-2)

図3-6-2 性・年齢別 生涯学習活動の取組状況



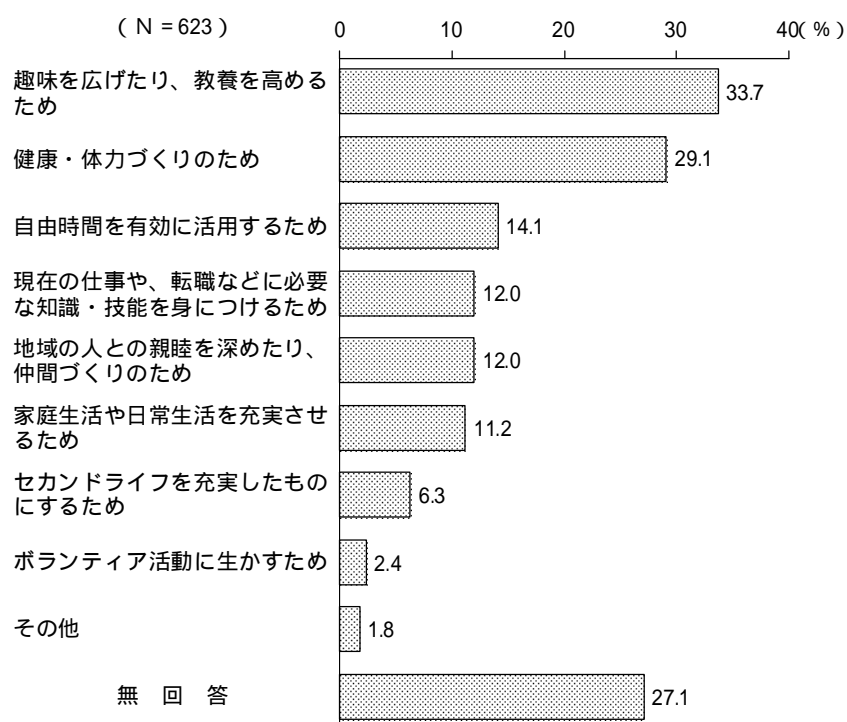
3 - 7 生涯学習活動を行う目的

「趣味を広げたり、教養を高めるため」が33.7%

問14 で「特に行っていない」以外に答えた方（生涯学習を行っている方）におたずねします。

問14 学習活動を行う主な目的は何ですか。（ は2つ以内）

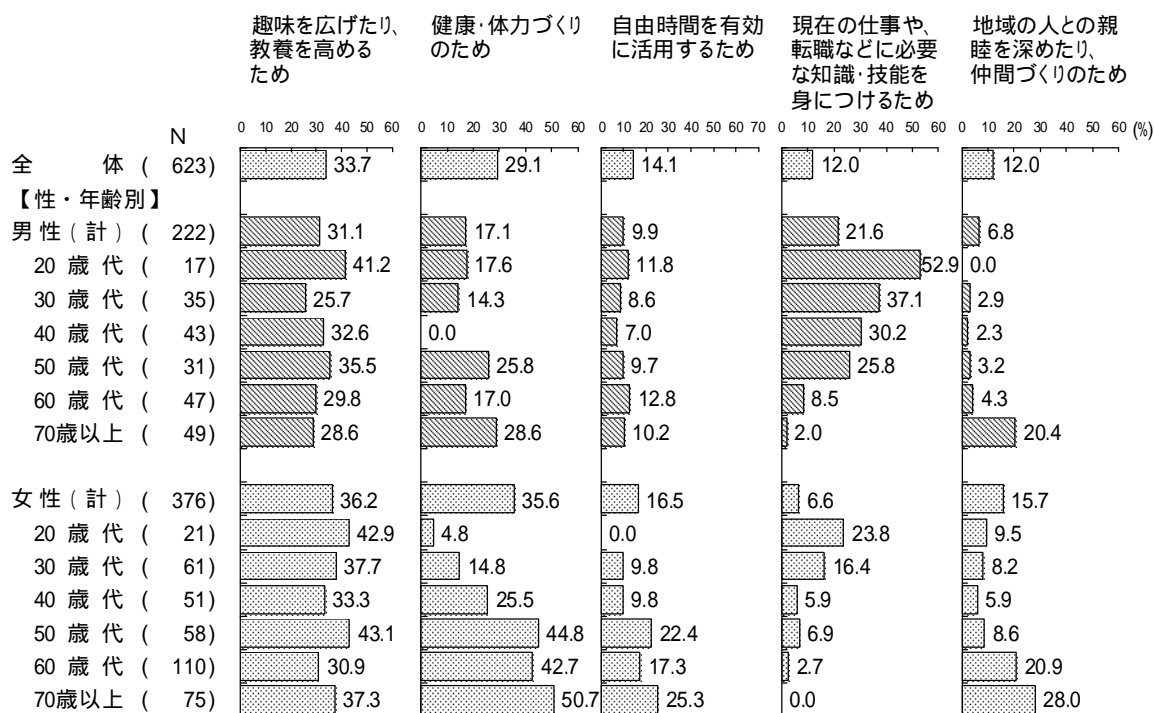
図3 - 7 - 1



問14 で生涯学習を行っている方(623人)に、生涯学習活動を行う目的をたずねたところ、「趣味を広げたり、教養を高めるため」(33.7%)が最も多く、30%を超えている。以下、「健康・体力づくりのため」(29.1%)、「自由時間を有効に活用するため」(14.1%)、「現在の仕事や、転職などに必要な知識・技能を身につけるため」(12.0%)、「地域の人との親睦を深めたり、仲間づくりのため」(12.0%)などの順となっている。(図3 - 7 - 1)

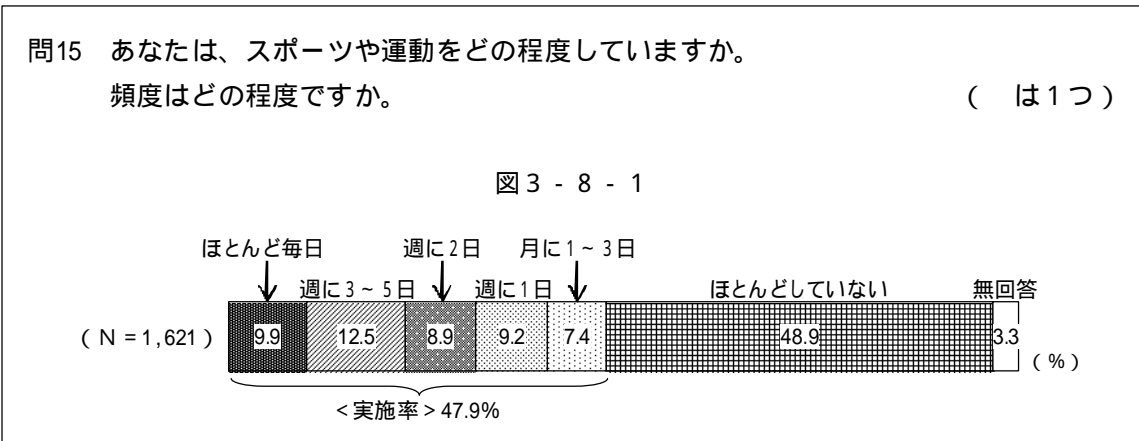
上位5項目を性・年齢別にみると、「健康・体力づくりのため」は女性の50歳以上の年代が40%台から50%台で多くなっている。「現在の仕事や、転職などに必要な知識・技能を身につけるため」は男女ともおおむね低い年代ほど割合が高くなる傾向にある。「地域の人との親睦を深めたり、仲間づくりのため」は女性70歳以上が30%近く、男性70歳以上と女性60歳代が20%を超えて多くなっている。(図3-7-2)

図3-7-2 性・年齢別 生涯学習活動を行う目的



3 - 8 スポーツ・運動の頻度

<実施率>は47.9%

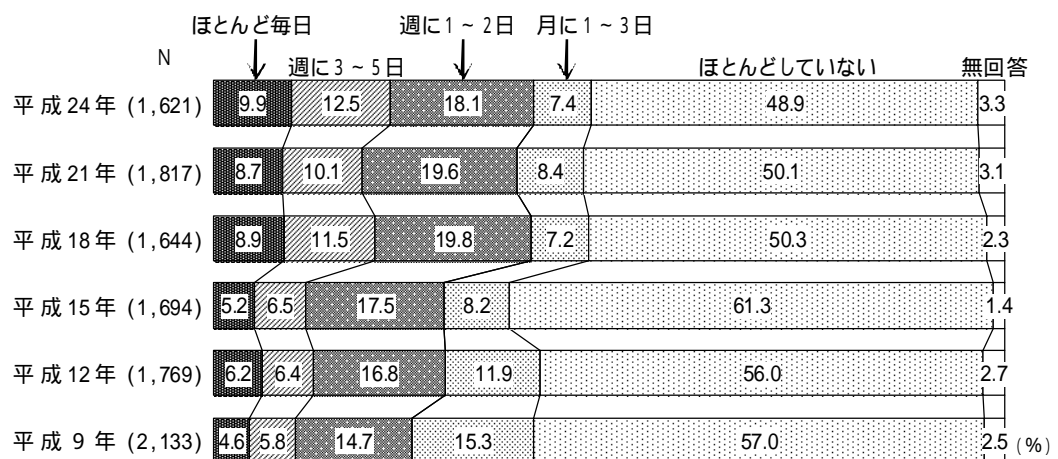


スポーツ・運動の頻度をたずねたところ、「ほとんどしていない」(48.9%)が最も多く、50%近くとなっている。「ほとんど毎日」(9.9%)、「週に3~5日」(12.5%)、「週に2日」(8.9%)、「週に1日」(9.2%)、「月に1~3日」(7.4%)を合わせた<実施率>は47.9%となっている。

(図3 - 8 - 1)

時系列でみると、平成18年調査以降<実施率>は50%近くで推移しており、大きな変化はみられない。(図3 - 8 - 2)

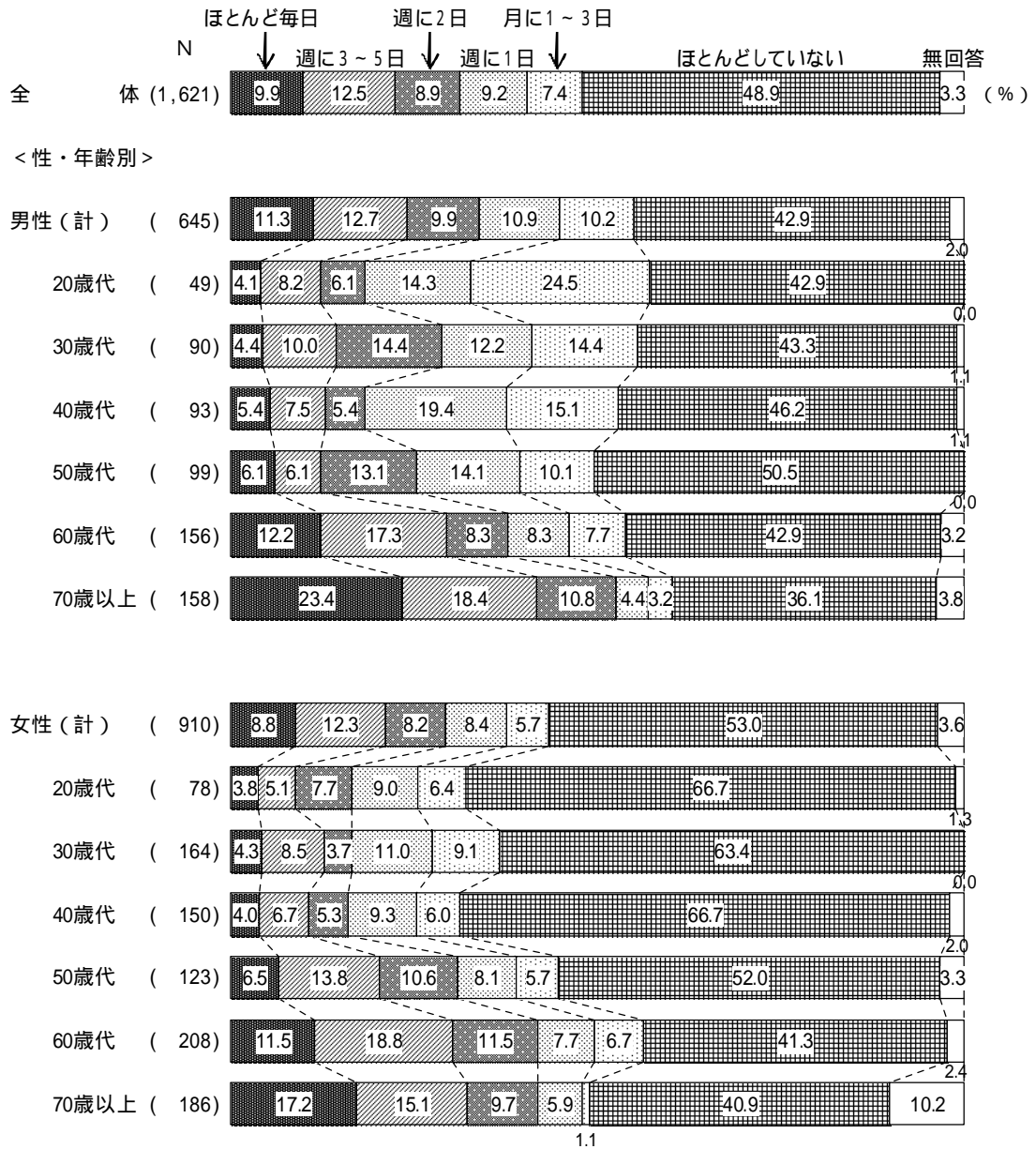
図3 - 8 - 2 時系列 スポーツ・運動の頻度



性・年齢別にみると、＜実施率＞は男性70歳以上が60%を超えて最も多くなっている。一方、「ほとんどしていない」は女性の20歳代から40歳代の年代がいずれも60%台で多くなっている。

(図3-8-3)

図3-8-3 性・年齢別 スポーツ・運動の頻度



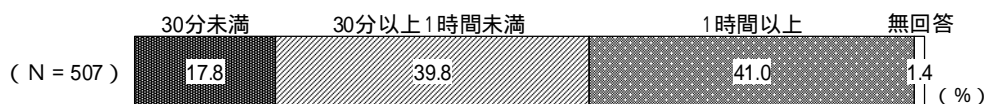
3 - 9 スポーツ・運動 1 回あたりの時間 / はじめてからの期間

(1) 1 回あたりの時間

1 回あたりのスポーツをする時間は「1 時間以上」が41.0%

問15 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」と答えた方におたずねします。
問15 1 回の時間はどの程度ですか。 (は1つ)

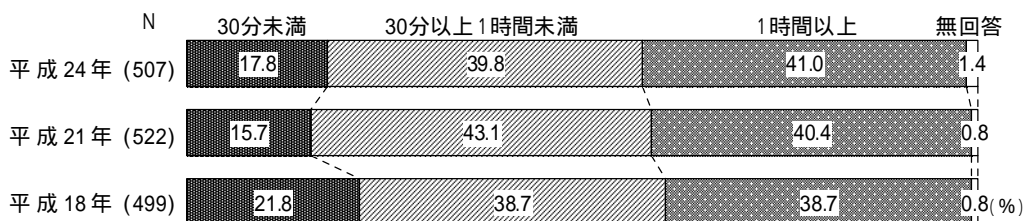
図 3 - 9 - 1



問15 で「週に2日」以上スポーツ・運動をしていると答えた人(507人)に、1 回あたりの時間をたずねたところ、「1 時間以上」(41.0%)と「30分以上1 時間未満」(39.8%)がともに40%前後で多くなっている。(図3 - 9 - 1)

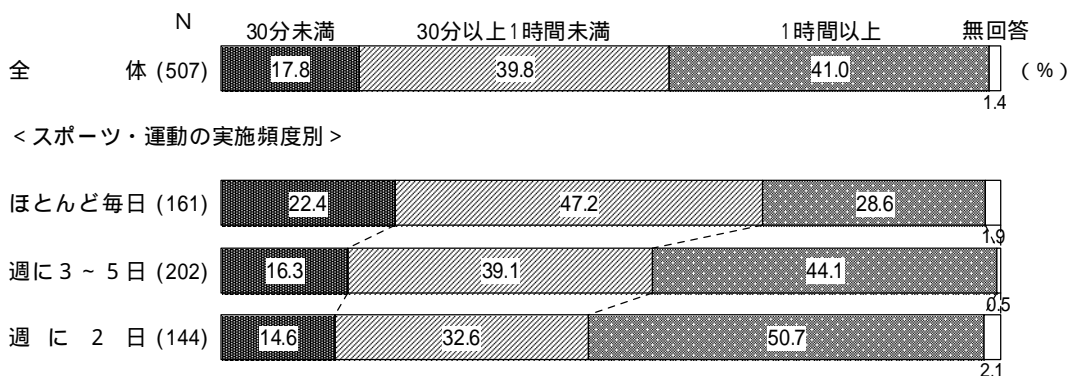
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。(図3 - 9 - 2)

図 3 - 9 - 2 時系列 1 回あたりの時間



スポーツ・運動の実施頻度(問15・78ページ参照)別にみると、スポーツ・運動の実施頻度が高くなるほど、1 回あたりの時間が短い人の割合が多くなる傾向がみられる。(図3 - 9 - 3)

図 3 - 9 - 3 スポーツ・運動の頻度別 1 回あたりの時間



(2) はじめてからの期間

「1年以上」が76.9%

問15 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」と答えた方におたずねします。
 問15 スポーツや運動をはじめてからどの程度期間が経過していますか。(は1つ)

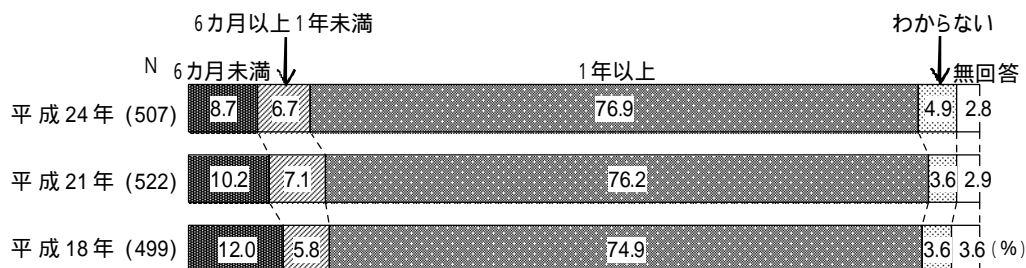
図3-9-4



問15 で「週に2日」以上スポーツ・運動をしていると答えた人(507人)に、スポーツをはじめてからの期間をたずねたところ、「1年以上」(76.9%)が最も多く、70%半ばに達している。「6ヶ月未満」(8.7%)と「6ヶ月以上1年未満」(6.7%)はともに10%未満である。(図3-9-4)

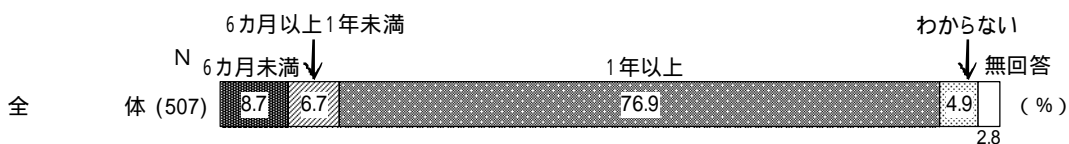
時系列でみると、過去の調査とほぼ同じ傾向になっている。(図3-9-5)

図3-9-5 時系列 はじめてからの期間

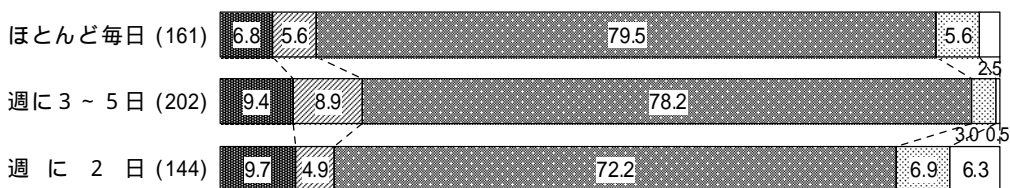


スポーツ・運動の実施頻度(問15・78ページ参照)別にみると、実施頻度の違いによる大きな傾向の違いはみられない。(図3-9-6)

図3-9-6 スポーツ・運動の頻度別 はじめてからの期間



<スポーツ・運動の実施頻度別>



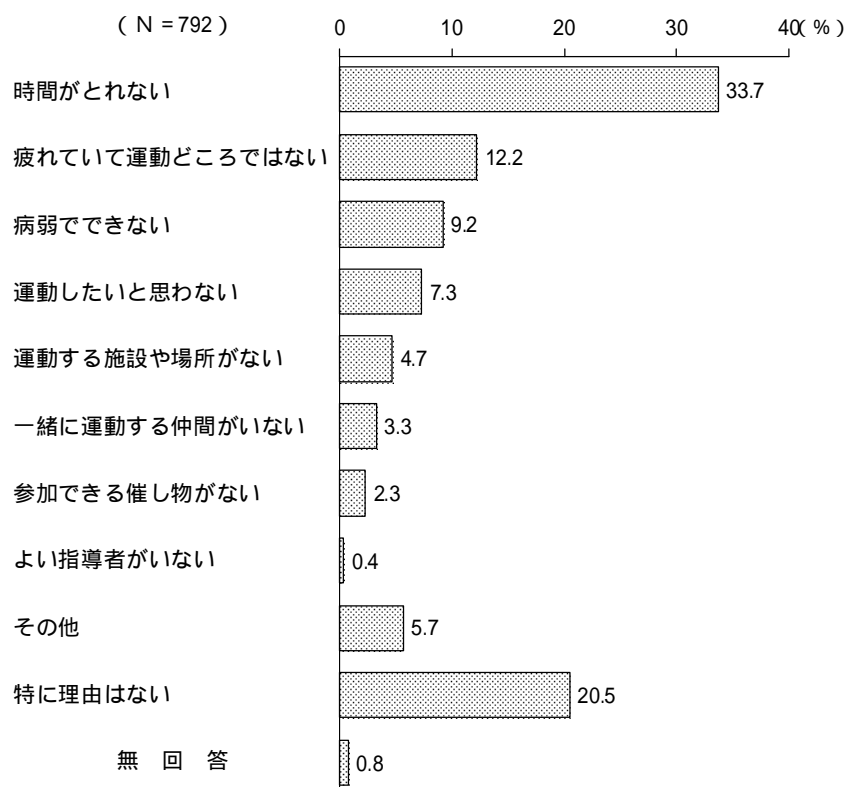
3 - 10 スポーツ・運動をしない理由

「時間がとれない」が33.7%

問15 で「ほとんどしていない」と答えた方におたずねします。

問15 スポーツや運動をほとんどしていない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。(は1つ)

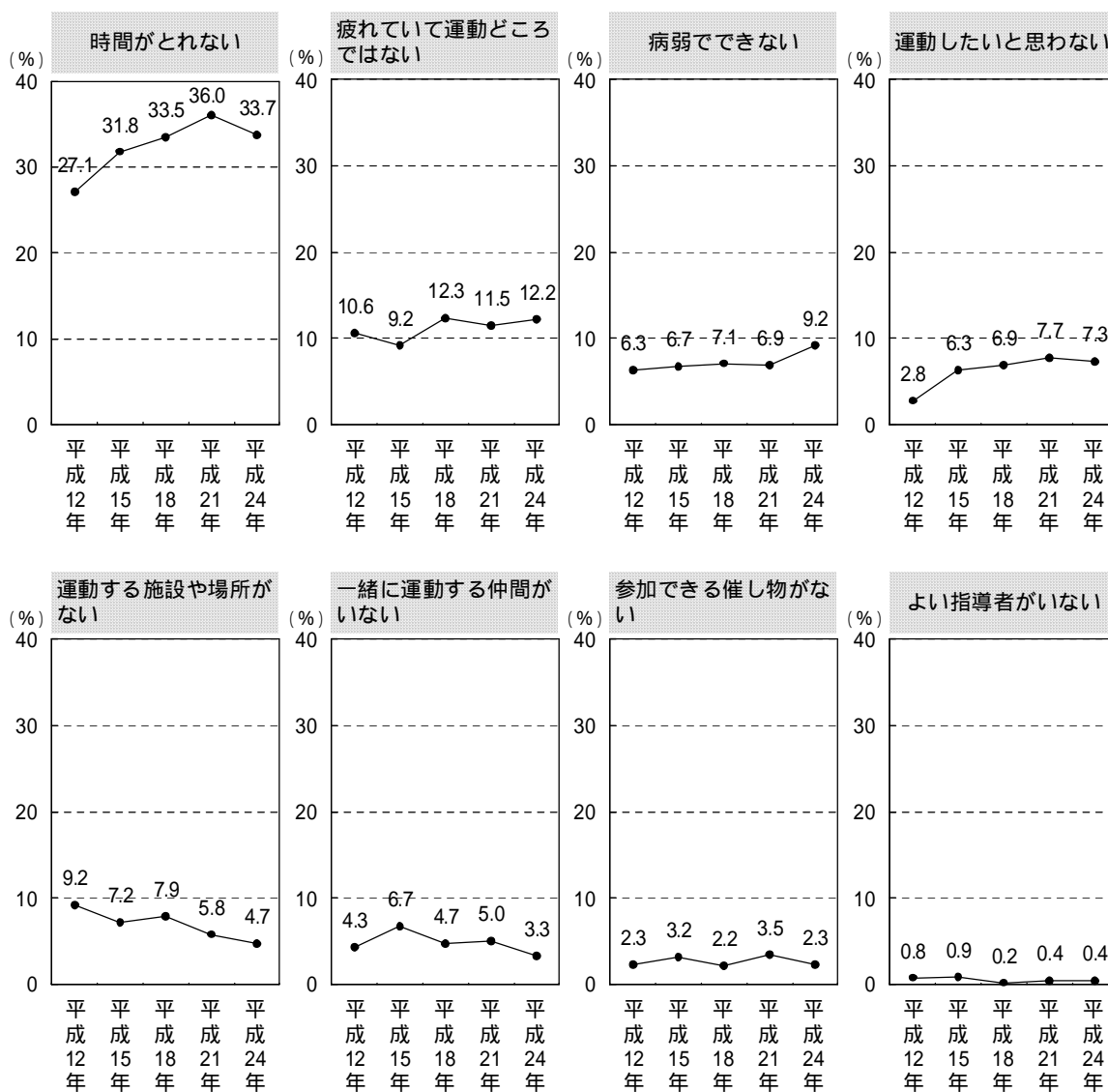
図3 - 10 - 1



問15 でスポーツ・運動を「ほとんどしていない」と答えた人(792人)に、その理由をたずねたところ、「時間がとれない」(33.7%)が最も多く、30%を超えている。以下、「疲れていて運動どころではない」(12.2%)、「病弱でできない」(9.2%)、「運動したいと思わない」(7.3%)などの順となっている。(図3 - 10 - 1)

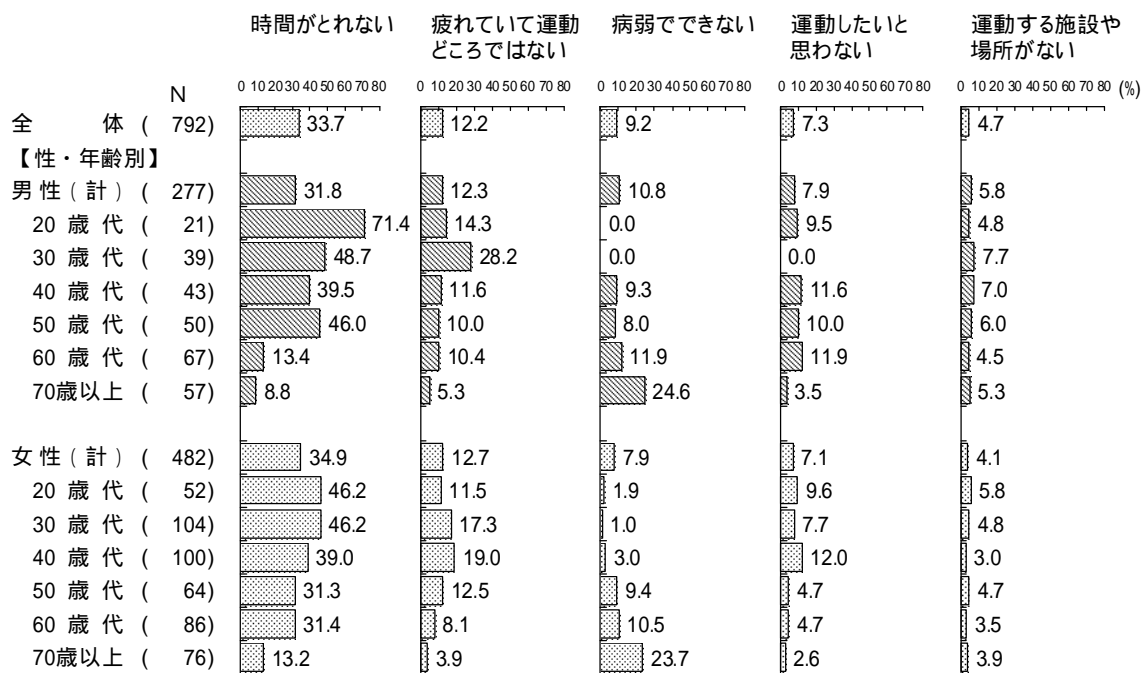
時系列でみると、過去の調査と同様に、「時間がとれない」が最も多い理由となっている。また、「運動する施設や場所がない」はおおむね減少傾向となっている。(図3 - 10 - 2)

図3 - 10 - 2 時系列 スポーツ・運動をしない理由



上位5項目を性・年齢別にみると、「時間がとれない」は男性20歳代が70%を超えて最も多くなっている。「疲れていて運動どころではない」は男性30歳代が30%近くで最も多く、「病弱でできない」は男女とも70歳以上が20%台で多くなっている。(図3-10-3)

図3-10-3 性・年齢別 スポーツ・運動をしない理由

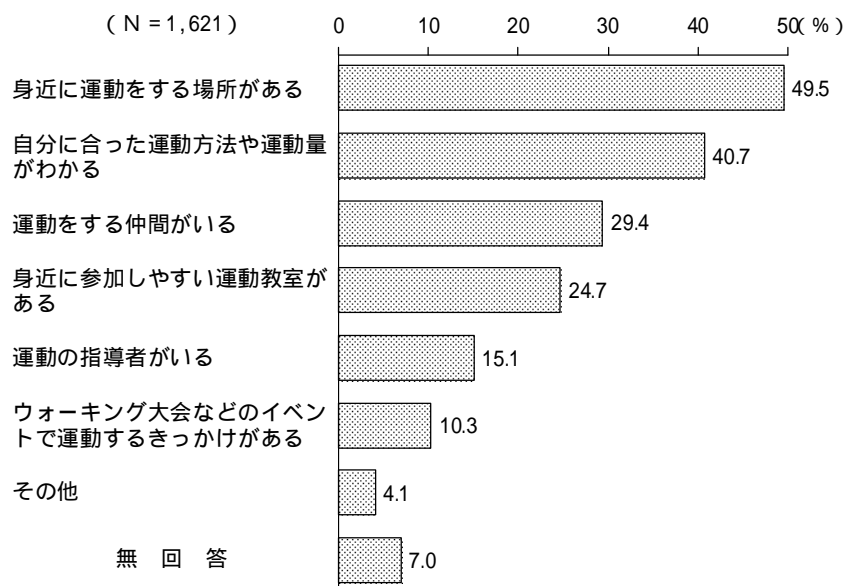


3 - 11 運動習慣を身に付けるために必要なこと

「身近に運動をする場所がある」が49.5%

問16 健康を保つための運動習慣を身に付けるために、どのようなことがあるとよいと思いますか。 (はいくつでも)

図3 - 11 - 1



運動習慣を身につけるために必要なことをたずねたところ、「身近に運動をする場所がある」(49.5%)が最も多く、50%近くとなっている。以下、「自分に合った運動方法や運動量がわかる」(40.7%)、「運動をする仲間がいる」(29.4%)、「身近に参加しやすい運動教室がある」(24.7%)、「運動の指導者がいる」(15.1%)などの順となっている。(図3 - 11 - 1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「身近に運動をする場所がある」は男性20歳代が70%を超えて最も多く、「運動をする仲間がいる」は男性20歳代が50%を超えて最も多くなっている。「身近に参加しやすい運動教室がある」は女性（31.9%）が男性（15.2%）より16.7ポイント高く、特に女性50歳代が40%を超えて多くなっている。（図3 - 11 - 2）

図3 - 11 - 2 性・年齢別 運動習慣を身につけるために必要なこと

